

予防鍼灸研究会（SGPAM）

## 第9回定例会抄録

テーマ：腹診・舌診

2022年3月27日

## 目次

鍼灸臨床の序章－刺さない鍼の実技 .....	一ノ瀬 宏	2
漢方入門講座『腹診・舌診』 .....	平地 治美	3

## 鍼灸臨床の序章－刺さない鍼の実技

鍼灸和友堂 一ノ瀬 宏

「抄録」 皮膚表面の虚実をとらえて、刺さない鍼等を用いて補瀉を施す、その細やかな微刺激を患者さんの直截的な感覚受動性ゆだねて、心身の不平衡を整え、そして心のざわめきを平らかに、次の未知なる機転につなげられるようなつもりで鍼灸臨床供覧したいと思います。

## 漢方入門講座『腹診・舌診』

和光鍼灸治療院・漢方薬局代表 平地治美

「抄録」 舌診と腹診 漢方の診断方法の「四診（ししん）」は、全て五感を使って行います。「患者を診断する時は、この四診を総合して注意深く行わなくてはならない」と、漢方の古典である『黄帝内経』にも注意が促されています。一つの診断に偏ることなく四診からわかることを総合的に注意深く判断して診断をすることの重要性は、現代の臨床にも共通します。注意深く丁寧な漢方の診断・治療は、古来から現在、未来へと伝承すべき患者への愛の形ではないでしょうか。今回の講座では、四診の中でもコツを必要とする診断である「舌診」と「腹診」の基礎について学びます。腹診は四診の「切診（せっしん）」、舌診は「望診（ぼうしん）」に含まれますが、それぞれを行うにあたり注意すべきこともあります。正しく行えば熱や冷えの有無、水分の過不足、血行の良し悪しなど体の中の様々なことを知ることができます。そして、患者さんと診断を共有することで養生の指導もスムーズに行うことができます。本講座をきっかけに、自分や患者さんの舌を観察し、日々の臨床の幅を広げる一助にいただければ幸いです。